

# 首都圏大月市会 入会のご案内

本市の出身者や本市にゆかりある方々のふるさと大月への想いをつなぎ、ゆかりの方々と市民とが互いに親睦を深め、大月市の発展につなげていくため、令和2年3月に大月市ゆかりの会『首都圏大月市会』を設立します。県内外で活躍中の大月市にゆかりのある方々のご入会をお待ちしております。

## ■対象

本会の目的に賛同する個人及び法人

## ■活動内容

- ・設立総会 令和2年3月28日(土)  
大月市民会館 3階 講堂  
総会：午後1時30分～  
終了後、懇親会

**新型コロナウイルスの感染拡大防止  
のため総会の開催を延期いたします。**

## ■入会の方法

### ■年会費

個人会員 2,000円

法人会員 10,000円

### ■問い合わせ

首都圏大月市会事務局

(大月市役所総務部秘書広報課)

☎ 0554-23-8004

Fax 0554-23-1216

mail : hishokh-19206@city.otsuki.lg.jp

## 首都圏大月市会 設立趣意書(案)

私たちのふるさとである大月市は、桂川と笹子川の河川沿いに広がる河岸段丘に古くから集落が形成され、甲州街道の宿場町として、また養蚕・絹織物の特産地として発展してきました。

昭和29年8月に北都留郡の笹子村、初狩村、大月町、賑岡村、七保町、猿橋町、梁川村の3町4村が合併し、山梨県で6番目の市として市制が施行され、翌9月にはさらに富浜村を合併して現在の大月市となりました。

地名については、大月市駒橋一丁目にある三島神社境内のけやきの巨木にちなみ「大槻(おおつき)」と言うようになり、その後、駒橋より見た月がひときわ大きく見えたことから、「大月」となったというのが由来とされています。

さて、大月市は、東京方面に程近く、相模川の上流域に位置しています。そして、この流域をたどると中・下流域の都市部の方々のためにも、生きるための原点である水や空気、癒しをもたらす、先人たちが築き上げた豊かな自然を大切に守っていく役割と使命があります。

また、都市部からの交通の便が良く、岩殿山や日本三奇橋の一つである名勝「猿橋」の他、甲州街道沿いの歴史文化や富士山の景勝地として知られており、居住環境に恵まれた立地となっています。

そのような中で、生まれ育った「ふるさと大月」を愛する心をもった次世代を担う子どもを育て、いつまでも、大月に住んでもらい、市民それぞれの世代が自信と誇りを持ち、生きがいを感じながら助け合い、思いやりを持ち支え合う、そんなまちづくりを目指しています。

地方の活性化が求められる現代において、本市も人口減少や少子高齢化が進んでいるため、首都圏と大月市の情報交換を密にし、人と人とのつながりを構築していくことが、私たちの元気な「ふるさと大月」の実現に結びつくものと確信しています。

つきましては、首都圏で活躍されている大月市出身者、また大月市にゆかりのある方々と大月市民がともに手を携え、親睦と交流を図ることにより、大月市のさらなる発展に寄与することを目的として、ここに「首都圏大月市会」の設立を提唱いたします。

平成31年 2月 発起人代表

高杉暢也 元) 韓国富士ゼロックス(株)会長・(財)アジア・ユーラシア総合研究所評議員